

呑兵衛司書の部屋

今や一大ジャンルである『グルメ小説』。今回は、いわゆる「呑み屋さん」が舞台の作品の中から、筆者が「この店で呑みたい！」と熱望する三軒のお店をご紹介します。

①『**ぼったくり**』
東京のとある下町の商店街にある居酒屋。お料理上手でお酒全般に造詣の深い（特に日本酒は、他県の蔵元まで直接買い付けに行くほど）店主の美音さんと、明るい看板娘の馨ちゃんの姉妹が二人で切り盛りするこのお店は、いつもご近所の常連さんで賑わっています。今日のおすすめ料理に合うお酒を美音さんに選んでもらって、カウンターの隅でちびちびやりながらみんなのおしゃべりに耳を傾ける。そんな普段使いにおすすめのお店です。

②『**のぶ**』
古都の外れ、外壁近くのく馬丁宿>通りにひっそり佇む酒場。タイショーのノブの料理は、目新しくどれも美味。ほとんどの客がまず注文するのはトリアエズナマだが、料理に合わせたレーシュやアツカンも乙なもの。伝説の美食家吟遊詩人も出没するという噂の、知る人ぞ知る名店である……て、実はこれ、ファンタジーです。京都の和食居酒屋の入り口が何故かヨーロッパ風異世界に繋がってしまい、そのまま営業を始めたという変わり種。お食事はもちろん、周りのお客さんの様子を眺めるのもまた、楽しいものです。

③『**つる家**』
お江戸は元飯田町、九段坂下の小料理屋。上方（大阪）出身の女料理人、濡ちゃんの腕は天下一品。東西の味を融合させた個性あふれる献立は、腹ぺこの職人さんからお忍びのお武家様まで、多くのお客さんを魅了しています。初期メニューの中では、看板料理の「とろとろ茶碗蒸し」も捨てがたいけど、私が一番食べてみたいのは「三つ葉尽くし」。結び三つ葉をあしらった蛤のお吸い物、お浸しに白和え、三つ葉ご飯。白魚と合わせたかき揚げは塩で。これが吞まずにいられるか!? ただしこのお店、お酒が出るのは月に三日、三の付く日だけなので、おいでの際には日付にご注意を！

(A)

おすすめ本

- ①『居酒屋ぼったくり』全11巻+おかわり！1～3巻
秋川滝美／著 アルファポリス（単行本：上池袋図書館、文庫：駒込・千早図書館所蔵）
- ②『異世界居酒屋「のぶ」』1～7巻 蟬川夏哉／著
宝島社（中央図書館所蔵）
- ③『みをつくし料理帖』全10巻+特別巻 高田郁／著
角川春樹事務所（駒込・池袋・目白図書館所蔵）

8月の行事

日	月	火	水	木	金	土
子ども向けクイズイベント 「図書館タンテイ」最終日！				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
新刊 お話し会	休館			子ども 司書	子ども 司書 お話し会	
11	12	13	14	15	16	17
新刊 お話し会		赤ちゃん お話し会				
18	19	20	21	22	23	24
新刊 お話し会					休館	
25	26	27	28	29	30	31
新刊 お話し会	夏のスペシャル「こわーいおはなし会」 こわい話でひんやりするかも？					
「子ども司書によるどきどきおはなし会」 ぜひおたのしみに！						

<日曜>新刊本を出します。
毎週11時から、幼児から小学生低学年向けのお話会があります。

<火曜>第3火曜日11時から、赤ちゃん向けお話会があります。

<8/9（金）14:15～>小学5、6年生の子ども司書によるお話会があります。幼児～小学生のお子様ぜひご参加ください！

編集後記

「あなたの推し本の忘れられないフレーズ」へのご応募ありがとうございました！みなさまの推し本も展示していますので、ぜひご覧ください。
今回の司書の部屋コーナーは、いくら呑んでも顔色を変えないAさんが担当してくれました。おすすめ本をアテに、美味しいお酒をどうぞ。(M)

すがもらいぶらり

2024年8月・9月合併号(8月1日巣鴨図書館発行)

夏、真っ盛りです。巣鴨図書館では児童向けイベント「こども夏フェス」（詳細は下記案内のとおり）、一般向け特集展示「怖い本」（8月24日～9月26日）を行います。是非お楽しみください。
さて、すがもがーでんでは去年も育てていた白い綿の花に加え、今年は緑と茶色の綿の花も育てています。現在順調に成長中ですが、花になった時にどのような色を見せてくれるのか想像しながら、愛情を持って育てています。
各鉢にはそれぞれの種の説明もあるので、図書館に来た際には成長を見守ってくれると嬉しいです。（館長）

すがもとしゃかん

第1弾！ 7月27日（土）～8月4日（日）まで

すがもとしゃかん 図書館タンテイ

たんでいになって、クイズをどうぞ！今年のはたべものもんだいだよ！

第2弾！ 7月27日（土）～8月22日（木）まで

①自由研究に関する本の特集展示 児童室特集棚

自由研究や調べもの学習に悩んでいるきみ！図書館でネタ探しとひらめきの冒険へ！

②「平和をかんがえよう」特集展示 児童室特設

平和について考えるきっかけに。絵本、よみもの、ちしきのえほんなどを集めました。

第3弾！ 8月18日（日） 11:00～11:30

こわーいおはなし会 先着25名！

君は最後まで聞くことができるか？

※こわくになったら、途中お部屋から出て大丈夫です。

じぞうくんより…

巣鴨図書館の入り口に黒い看板が立っているのををご存じですか？
季節のイベントや、すがもがーでの花や野菜の成長について、司書が交代で黒板アートを描いています。いわば、ミニ「すがもらいぶらり」ですね。
巣鴨図書館のフレッシュな情報にぜひご注目ください。



あなたの推し本の

忘れられないフレーズ

6月に図書館で募集しましたみなさんのおすすめの本の心に残ったフレーズをご紹介します。豊島区の図書館にある本ばかりですので、気になった本はご一読を。

できるだけバカバカしい手段で金を集め、どんどん謎のスペースを開き、次々と他のスペースとの交流を深めまくる。①

死は生きることのおわりやなくて続きや。②

ぼくはぼくでよかっただって ねみちゃんにであえたんだもの④

だから、戻ってみようと思う。学校に。③

ゆっくりだっていいんだよ。ながればしが ひつつおちました。⑤

いま起きていることにちゃんと応じる身体でいること。⑥

気のいいウサギさん…。あんなにさっぱりして、そしてひかえめで。生きていくのは、あのウサギさんにも楽じゃないのに。⑧

いいの。そう思ってるだけで。告白したからってどうにかなるとは思ってないし、別にどうにかなりたいわけでもないし。⑨

せめて絵本はあの石ころや牛の糞と同じか、それ以上であってほしいと思うのである。⑦

- ①『世界マヌケ反乱の手引書ーふざけた場所の作り方ー』（松本哉／著 筑摩書房） ②『りんごの木を植えて』（大谷美和子／作 白石ゆか／絵 ポプラ社） ③『かがみの孤城』（辻村深月／著 ポプラ社） ④『ねずみくんのきもち』（なかえよしを／作 上野紀子／絵 ポプラ社） ⑤『マルマくんかえるになる』（片山令子／文 広瀬ひかり／銅版画 ブロンズ新社） ⑥『句点。に気をつけろー「自分の言葉」を見失ったあなたへー』（尹雄大／著 光文社） ⑦『バウルの歌ー画文集ー』（秋野不矩／著 筑摩書房） ⑧『バンビー森の、ある一生の物語ー』（フェーリクス・ザルテン／作 上田真而子／訳 岩波書店） ⑨『夜のピクニック』（恩田陸／著 新潮社）